

研究主題

# 特別支援学級における先を見通した指導のあり方

— ひまわり学級の歩み —

## 研究仮説

年間を見通し、子どもに適した指導を細かく計画・実行・改善していけば、子どもの力を伸ばすことができるであろう。

2021. 12. 28

大分市立荏隈小学校

教諭

久保千恵子

## 目次

	(ページ)
はじめに	1
I 研究主題・設定の理由	2
II 研究仮説	3
III 研究内容	3
IV 研究方法・計画	3
V 研究の実際	4
VI 研究のまとめ・成果と課題	10

## 資料

	(枚数)
1. 特別学級のすすめ	⑥
2. S S W. S Cとの連携①	⑨
3. 実践の記録 (A児)	⑨
4. 指導案	④

## はじめに

「学級担任になる」ということ、それは初めてでも何回経験していても、すてきなことである。明るいクラスや何でも言いあえるクラスなどと、自分のクラスをイメージするだろう。すばらしいことである。教師名利につきる。

しかし、イメージするだけでは、実現しないのも現実である。イメージしたものをより具体的に実現するためには、どういう手だてが効果的なのかを見きわめることが必要である。何度か経験していれば想像することも容易であるが、担当することが突然であったり想定外であったりすると戸惑いが先に来るだろう。何をどうしたらよいのか見当がつかなくなる。けれども、どのような状態であっても、当然時は過ぎる。そうすれば適切な指導の時期を逃すことになってしまい、取り返しがつかない。これは、どの学級であってもよくあることで、だれもが経験していることであろう。

ところが、「特別支援学級の担任になる」ことは、文字通り特別である。これまでの経験があまり活用されないばかりが、学校によっては単学級であり、他の教師と思いを共有することが難しい。一人での対処という場合が多々ある。

どうすればよいのか。自分の場合で考えてみる。

今年度、荏隈小学校へ転任し、ひまわり学級の担任となった。特別支援学級の担任は初めてではないが、新しい学校でありこれまでと勝手が違うことが多い。まずクラス数が違うし、子どもの総人数も多い。さらには、年度当初に教室移動もあり、自分にとっては、まるで新設のクラスのようなのである。必要最低限のことは同僚に質問するが、互いに忙しく、時間を割いてもらうには気が引ける。結局自分の裁量になる。何はともあれ教室環境作りから始めたが、子ども一人一人の様子が思い浮かばないので、進まない。子どもの資料に目を通し引継を受けるが、頭にはなかなか入らない。自分のクラスの今後、夢が膨らむのと同時に不安も広がる。

何から始め、何をしなくてはいけないのか。まず始めたのが、計画を立てることであった。到達点を決め、取りあえずの手だてを考えた。このことが効果的であったと思う。

子どもの把握も継続して行った。出会いまでは、個別の支援計画と指導計画を読み込み、前担任との引き継ぎで疑問点を解消する。子どもの実態をつかむとよく口にしてはいるが、本当につかめているのだろうか。自問自答しながら見取り続ける。昨日までの姿と今日そして明日は違った。大変難しい。

担任するクラスに不登校傾向の子がいた。笑顔が可愛い子だが、活動に消極的で友達との関わりが苦手な子である。母親は付きっきりで、子どもの言動に一喜一憂してしまふほど追いつめられていた。子どもへの愛情にあふれできることは何でもする思いである。是非この子を学校に呼びもどしたい。学校に居場所があると感じ、学校が心安らぐ場になってほしい。それは、その子を含めてクラスの子どもすべてへの思いでもある。今すべきことは何か。今できることは何か。今後しなければならないことは何か。考え、整理して、計画を立て、悩みつつ、試行錯誤して指導した。すると、すぐに子どもに変化が見られた。そして、少しずつ変容していった。わずかな時間でも学校に関わりをもとうと行動するようになった。その結果、一年生時には115日の欠席日数が、6月の中旬から9月の中旬まで欠席0日で、現在まで欠席が少なく登校を続けることができている。欠席日数の減少がすべてではないが、一つの指標とみることができるのではないか。子どもと母親と担任で、とても喜んだ。時には、指導の順序が前後したり行き違いがあったりしたが、そこは熱意と誠意で乗り越えた。精神論ではないが、気持ちはすごく大切だと思う。子どもを預かる責任を感じ、子どもと楽しみながら活動した一年である。

この一年の実践が、悩む教師の助けにいくらかでもなれば、そして、子どもの成長の手助けにいくらかでもなれば幸いと思う。



# I. 研究主題及び設定の理由

## (1) 研究主題

特別支援学級における一年間を見通した支援・指導のあり方

## (2) 設定の理由

### ① 特別支援学級の様子

大分市には、小学校が54校と中学校が28校ある。そのうち、特別支援学級は、小学校51校に201学級と中学校26校に68学級が存在している。平均3学級強という計算になる。特別支援学級数は、年々増加している。それだけのニーズがあるということだ。また、困りを持つ子どもたちは、特別支援学級に在籍する子どもとは限らず、通常の学級にも多く存在している。合理的配慮で、授業を特別支援学級で受ける子どもも少なくない。

荏隈小学校においても、全校児童数420名で通常クラス14クラスに対し特別支援学級5クラスである。特別支援学級は、知的学級2・情緒学級2・病弱学級1の5クラスで、支援員2名と補助教員2名が配置されている。

特別支援学級1クラスの児童数が多く、勿論学年も複数学年である。子どもの一人一人の困りが多様なうえに、1クラスあたりの児童数が多い。

この現状で、一人一人に合った支援を無理なく行うためには、どうしたらよいのだろうか。限られた人員等の制約の中で、成果を最大限に望んだ。不登校傾向の子が、学校に居場所を感じることができたり、学習に消極的な子が自信を持って学習できたりするには、どうすればよいのか。

一人一人に対応した「一年間を見通した計画」がより具体的になれば、可能となるのではないだろうか。トラブル等の対応に追われ先を見失うのではなく、根本的な目標や方針をしっかりと見据えて、常に俯瞰的な視点を忘れないことが必要ではないだろうか。そして、検証と成果の分析を繰り返し絶えず修正していくのである。

一日を充実させるためには、一週間の中の一日としてとらえることが大切であり、もっとすれば一ヶ月の中の一日、いや学期の中の一日、一年の中の一日としてとらえる。一年の中で一日一日の子どもの育ちを考える。このことができれば、子どもに寄りそった効果的な教育が可能になるのではないだろうか。一年を見通せたら、数々の課題も少しずつ解決されるのではないかと考えた。

一年後の成長した姿を思い描きながら、一年の中で一日をとらえ、一日の中で一時間の計画を考えて実行していくことの有効性と必要性を感じ、本主題を設定した。



【ひまわり教室の様子】

## Ⅱ. 研究仮説

年間を見通し、子どもに適した指導を細かく計画・実行・改善していけば、子どもの力を伸ばすことができるであろう。

一年間を見通し、一人一人の子どもに適した指導を具体的にどのように計画していけばよいのだろうか。そして、実行するにはどんな手だてがあるのか。成果があるものは継続し、課題が残るものは改善していかなくてはならない。

## Ⅲ. 研究内容

年間の見通しをもつことができるには

- (1) 個別の支援計画・指導計画の見直しと細かな年間活動計画〔特別支援学級のすすめ〕の作成（資料1参照）
- (2) 細かな年間活動計画〔特別支援学級のすすめ〕の修正・改善（資料1参照）

実践への6つの視点

1. 子ども理解を深めるには

- (1) 個別の支援計画・指導計画の確認
- (2) 継続した記録（資料2参照）
- (3) 質問紙の実施・分析
- (4) 面談
- (5) S S W・S Cとの連携（資料3参照）

2. 保護者との相互理解を深めるには

- (1) 連絡〔面談・電話・連絡帳〕

3. 学校の居場所となる教室にするには

- (1) 壁面等掲示物
- (2) 机配置
- (3) クールダウンの場所

4. 身につけたい学習規律を習慣化するには

- (1) 規範意識をもたせる
- (2) あいさつ・姿勢

5. 自分のよさに気づき意欲的に活動できるには

- (1) 認め合う授業（資料4参照）
- (2) 週に一度のひまわりタイム

6. 問題発生時解決にむかうには

- (1) 問題の解決に向かう道筋

## Ⅳ. 研究方法・計画

1. 子どもにつけたい力を明確にする。
2. 日常の見取りと質問紙調査・分析による子どもの実態把握をする。
3. 研究仮説を設定し、手だてを検証しつつ、授業実践の中で修正する。

## V. 研究の実際

### 年間の見通しをもつことができるには

個別の支援計画に親の願いの欄がある。ほとんどが子どもの自立を願う記述であった。子どもが自立していくのに何が必要であるか。子ども一人一人が違う。社会に出ていく時まで、身につけるべき力を9年間の中の1年間としてとらえた。生活リズムの確立であったり、言葉使いに表れる心の安定だったり、子どもによって今すべきことが微妙に違った。家庭での過ごし方も大切な意味を持つことが多い。保護者との連携が必要となる。保護者対応も一律ではない。連絡をほぼ毎日とった方が保護者が安心する場合と、何かあった時に時間をかけて話す方が落ち着く場合があった。子どもと保護者との交流の中で理解を深め、適した対応が徐々に明らかになることが多かった。手だては子どもや保護者の理解が深まるにつれ変化していった。計画を作成し、実践し、改善のために修正し続けることが効果につながったと思う。短期的な目標と長期的な目標両方を常に意識したのだ。

#### (1) 個別の支援計画・指導計画の見直しと細かな年間活動計画〔特別支援学級のすすめ〕の作成(資料1参照)

年度当初に昨年の個別の支援計画と個別の指導計画を参考し、今年度分の大まかな見通しを持つことを何をおいても実行した。そして、記録を必ずした。一週間ごとに振り返り短期目標の修正をした。

(資料1参照)

### 3. すてきな一年間に

#### (1) 一学期 ～ スタート・出会い ～

##### 4月(子どもと親をつかむ)

・子どもと保護者としっかりと向き合い、よい関係を築く。

#### ①担任決定から始業式まで

##### ○子どもの実態の引継

- ・子どもの困りの把握 (病歴・病状・配慮すべき点)
- ・家庭状況の把握 (家族構成・経済的困り)

##### ○教室環境の整備

- ・2年生3名と3年生2名で合計5名なので、東側と西側に机を置く。学習スペースとリラクゼーションスペースを分ける。(P. 7参照)

##### ○当面の指導方針

- ・A児(2年生)登校をうながす。少しの時間でもよいので登校させる。
- ・B児(2年生)教室から出ない。落ち着いた学習態度がとれる。
- ・C児(2年生)学習意欲が向上する。
- ・D児(3年生)学習内容が定着する。

#### (2) 細かな年間活動計画〔特別支援学級のすすめ〕の修正・改善

作成した細かな年間活動計画〔特別支援学級のすすめ〕を実践していくために、必要不可欠な事項が多々あった。重要となる視点ということで次項以降に6つにまとめた。-実践への6つの視点-

## 実践への6つの視点

### 1. 子ども理解を深めるには

子どもを理解することは本当に難しい。しかし、理解したつもりになることだけは、さけた。書面から会話から観察からあらゆる方法で情報を集めて、一人一人をつかんでいこうとした。常に何を必要としているのかを見極め続けた。

#### (1) 個別の支援計画・指導計画の確認

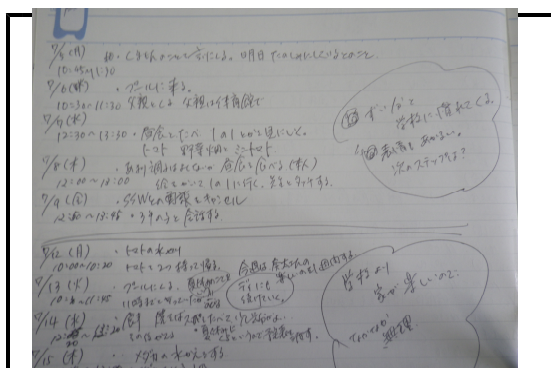
- ・基本的なデータを確認し、保護者の願いや前担任の思いを受け止めた。

#### (2) 記録

- ・ノートに出来事を記録した。
- ・パソコンに再記録した。

まずは、気がついたことをノートに記録した。出来事と手だてと感想などをメモで書き留めた。ノートにはなるべく毎日記録した。そして、なるべく一週間以内に、パソコンに整理して記録する。日時・場所・事実と感想・事後への展望等区別して整理する。記録を整理することで、記憶も整理でき考えが再構築された。計画的な見通しが持てることと、反省や今後の手立てが明らかになったという利点があった。

#### 【ノートでの記録】



#### 【パソコンの記録】(資料2参照)

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
<b>支援</b> 10:45-11:30 ・母との面談を促す機会をなるべくとる。 ・アールの問題を中心に話し合いをすすめる。 ・母子で支援を考える。 ・次のステップを考える。		<b>変容</b> 1 11:33-14:45 ・アールが来る。 ・ホワイトボードに絵を描く。		<b>2</b> 4:50- 11:11-11:58 ・帰りが遅く寝る。 ・寝る前は白紙で遊ぶ。
<b>5</b> 10:45-11:30 ・くまのんこと 12:00-12:00 ・SWの面談を申し込む。	<b>6</b> 10:30-11:30 ・アールに父親と来る。 ・父親は授業で居る。	<b>7</b> 12:30-13:30 ・授業後1-1としか見 に行か。ゲーム 字練習を見る。	<b>8</b> 11:00-11:00 ・授業後絵を描き1- 1年生と行く。先生 とタッチする。	<b>9</b> 10:30-11:30 ・SSWとの面談を申 込めたい。 ・3年生と面談する。
<b>支援</b> 学校より来の方が美しいという学校でもない。 家庭での過ごし方を考えてもらう。		<b>変容</b> ・今までだと寝たしなかった状況でも母親の働きかけで睡眠 が可能。 ・母親の表情が明るい。		
<b>12</b> 10:30-11:30 ・トットの水やりをする ・トットをなつ降って帰 る。夏休みを話す。	<b>13</b> 10:30-11:45 ・水泳の授業。思いつも りだったが最後まで入 る。夏休みを話す。	<b>14</b> 12:30-13:30 ・授業後母親と去る。 ・気分が落ちなかったが 眠るまでは大変。	<b>15</b> 11:15-11:00 ・めいめいの水替え 水を話し、職員へ 池でめいめいと。	<b>16</b> 13:30-14:30 ・ゲームをプレイする。
<b>支援</b> ゲームで遊ぶ。今後は先生さんの遊びをしてくれる。 ゲームも練習して行く。		<b>変容</b> ・ゲームと遊んでいる。 ・遊んでる。表情も明るい。		

#### (3) 質問紙の実施・分析

- ・大分全市のアンケート  
 QUテスト・いじめ防止アンケート
- ・各学校毎のアンケート

様々な角度からの質問紙を実施分析することで、個としての子どもと集団の中の存在としての子どもの実態に近づくことができた。課題の早期発見も可能となった。

#### (4) 面接

会話を増やす意味からも、週に一回は、一対一での会話に心がけた。

#### (5) SSW・SCとの連携

保護者と担任の関係に、SSWやSCと関係をつなぎ子どもの支援を考えた。必要に応じて、外部団体との連携も容易になったと思う。A児の保護者は、一学期中毎金曜日に活用した。(資料3参照)

## 2. 保護者との相互理解を深めるには

保護者に連絡をとることは、とても重要である。日常的に情報を交換することで、親和的な関係作りが可能となった。教師側でも保護者側でも言葉に含まれる真意をくみ取りやすくなり、トラブルを未然に防ぐことにもつながった。協力体制を確かなものにするのにかかせないと改めて感じた。

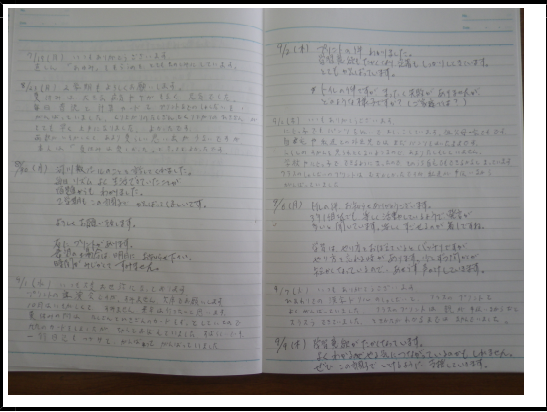
手段としては、面接・電話・連絡帳を使った。

面接が望ましい方法であるが、制約も多い。日時を設定しての面談が最も望ましいのだが、登下校時や来校時など時を逃さず、声かけをした。そうすると、保護者も構えずに本音で話してくれることが多かった。毎朝、昇降口で必ず話す母親もいた。電話は、用件をスピードをもって伝えられるので便利ではある。しかし、教師側の都合で連絡をとることになるので、そのことを忘れてはならない。連絡帳は、毎日の連絡に大変便利であったが、文字として残るので、言葉の選択には、配慮が不可欠であると実感した。対応を間違えると、瞬時にマイナスに働くので注意した。

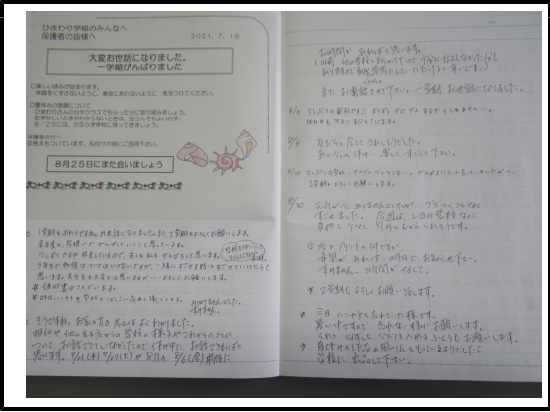
### 連絡（ 面接・電話・連絡帳 ）

- 面接
  - ・顔を見て話を進めることのできる面接を大切にした。
  - ・子どものよりよい成長を考えている立場は同じであることを、常に発信しつつ面接に臨んだ。
  - ・急な対応が難しいので、日常的なコンタクトを第一に大切にした。
- 電話
  - ・各家庭の生活リズムを十分に考慮したうえで、連絡をとった。
  - ・突然電話することはなるべくさけ、事前に連絡帳等で予約した。
  - ・電話の前後で内容を記録した。記憶違いやミスをなくす。
  - ・電話後の次の日に、連絡帳で会話の内容を確認し、お礼を伝えた。
- 連絡帳
  - ・毎日記入した。
  - ・出来事や発言等事実を伝えるとともに、問題発生時には解決への道筋を提示する場合もあった。言葉選びも重要であるが、指導への姿勢が行間にてるので十分に配慮した。

【連絡帳 1】



【連絡帳 2】





### 3. 学校の居場所となる教室にするには

教室は、子どもの居場所でなくてはならない。心安らぐ場所であってほしい。そのためには、自分の場所をはっきりとし、何をどこで行うのかを明確にした。複数での授業も多いので、一人になれる場所を用意しクールダウンに役立てた。学習の場とコミュニケーションの場と一人で落ち着く場を分けるように、心がけたのである。

#### (1) 壁面等掲示物

必要なものに精選して掲示した。学習スペースには、掲示物はなくした。活動に集中できるように心がけた。

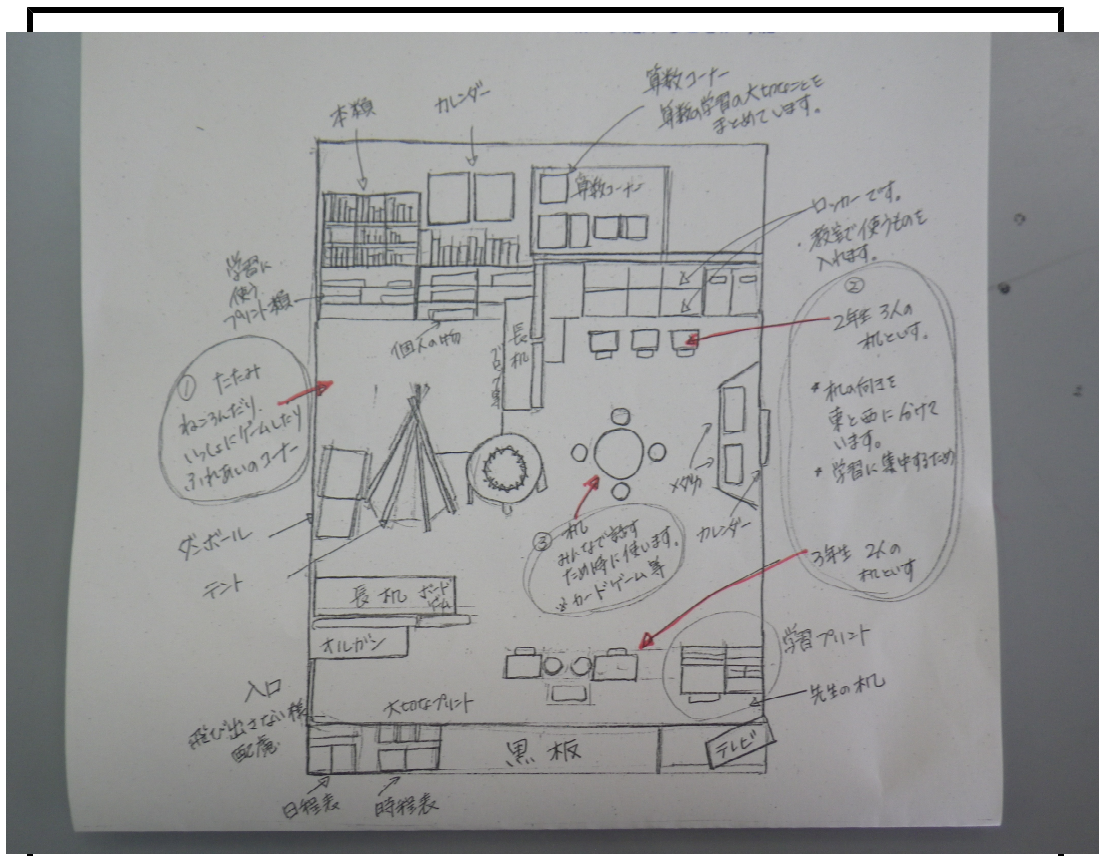
#### (2) 机配置

学習時に他学年と場所が一緒にならないようにした。学年毎のまとまりで配置を考えた。同学年でも学習に集中できるように衝立を活用した。

#### (3) クールダウンの場所

一人きりになれる場所をつくった。衝立で囲ったり段ボールで作ったりテントを使ったり工夫した。テントは人気があった。

#### 【ひまわり教室の様子】



#### 4. 身につけたい学習規律を習慣化するには

##### (1) 規範意識をもたせる

集団生活において自分を大切にし友だちを大切にすることは、ルールを守ることから始まる。学校生活においても就職して社会に出ても必要とされる。時刻・時間を守ることと人に迷惑をかけないことは、何をおいても大事にした。子どもに折に触れて指導を繰り返すことで落ち着いた生活態度となった。

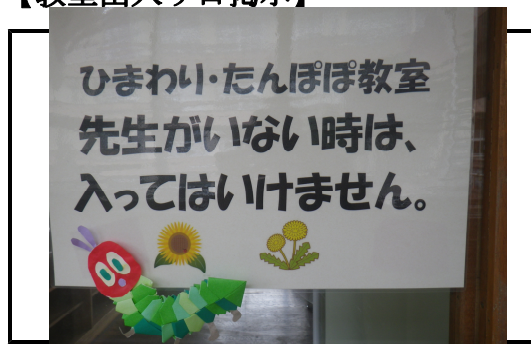
##### (2) あいさつ・姿勢

気持ちよく生活するために挨拶は欠かせない。教師が毎朝昇降口で明るい挨拶をした。大袈裟に褒めることが定着につながった。

##### 【廊下掲示】



##### 【教室出入り口掲示】



#### 5. 自分のよさに気づき意欲的に活動するには

##### (1) 認め合う授業

日々の授業がわかること。これは、とても重要なことである。特別支援学級では、主に国語と算数を学習するのだが、子どもにとって楽しくわかるものであってほしい。機会をとらえて指導案を作って授業を常に考える。(資料4参照)

特別支援学級での授業は勿論であるが、多くの時間を過ごす交流学級での雰囲気、互いを認め合い尊重するものであってほしい。交流学級の教師と連携を密に取り、特別支援学級の子どもも教師や友だちから真に認められる授業を作るよう互いに力を合わせた。授業の許す限り交流学級に足を運んだ。

交流学級の子どもが、特別支援学級の担任に敬意を持つと、自然に特別支援学級の子どもにも共感することが多くなった。

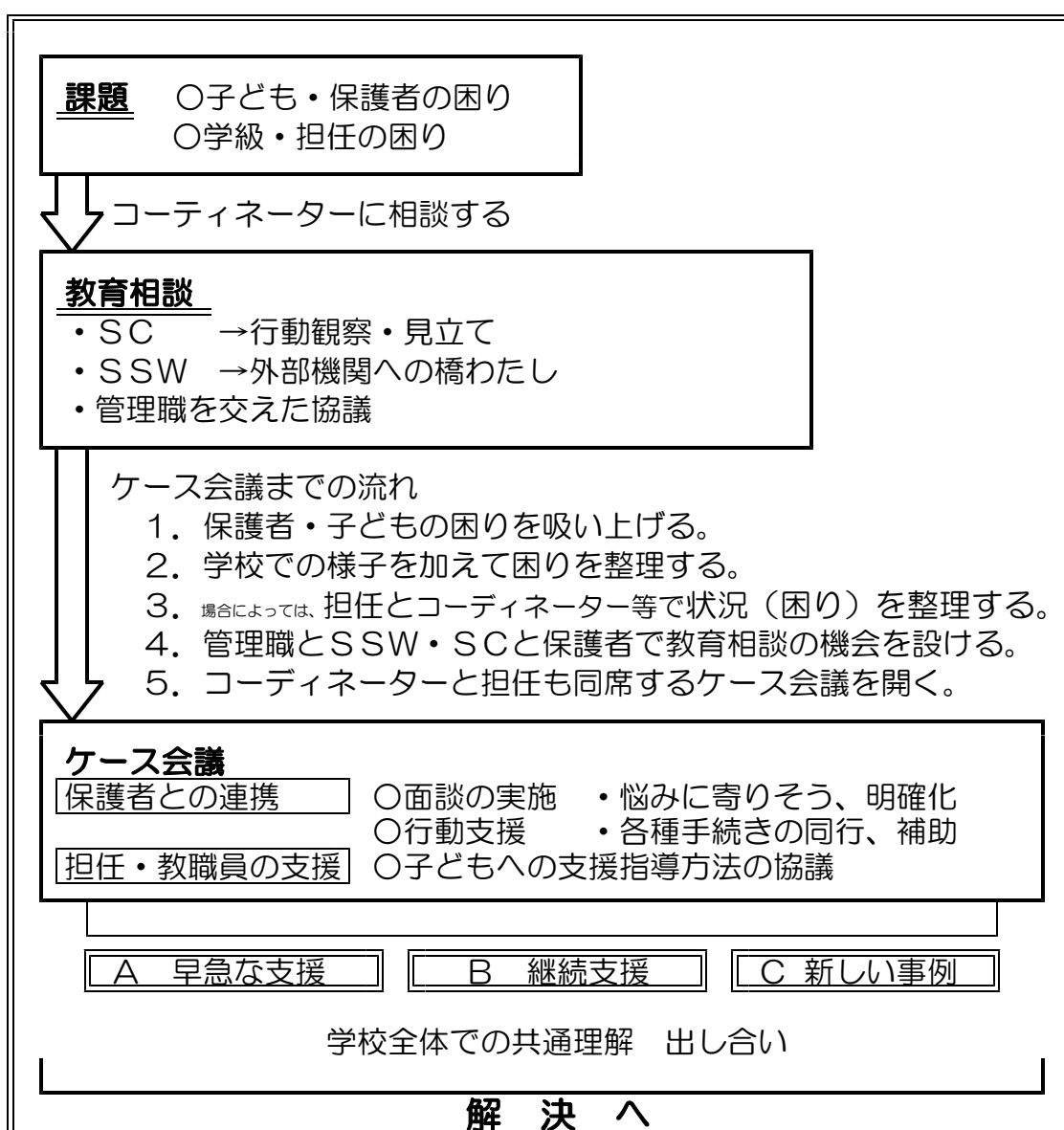
##### (2) 週一度のひまわりタイム

特別支援学級の子どもは、交流学級において少数なこともあり孤立感を持つことがある。また、できないことに直面することも少なくなく自尊感情が低くなりがちである。会話を増やし、自分と同じ思いを持つ友だちと時と場を共有することは、自信を持つことにつながった。笑顔が増えた。

## 6. 問題発生時解決にむかうには

問題が発生した時にどうすればよいか。慌てずに、でも速やかな対応に心がけた。一人で悩まずに、他の担任やコーディネーターに相談した。コーディネーター等に相談しても解決できない場合は、問題に応じてケース会議をすることになる。教職員全体に知らせて学校全体で解決に向かう。対応から解決までの流れを順序立てて整理した。どんな些細なことでも、他の担任に知らせることから始まると思った。事実を正確に細かく記録することで、共通理解が図られた。

### 【 問題の解決に向かう道筋 】





## VI. 研究のまとめ・成果と課題

本研究のアプローチを進めることで、学級の5名の子どもは、それぞれ目標とする姿に近づくことができた。

- A児（2年生）の変容 昨年度欠席数115日/181日 → 今年度欠席数 44日 12/28日  
6月上旬までは、時々欠席をしていたが、6月中旬から9月上旬までは、欠席ゼロで学校とつながりを進んで持てるようになった。表情も明るく元気になった。子どもと保護者の両方の心のケアに努めた成果と考える。まだ、自力登校ではないので、今後はそれを目指したい。下校時に直接放課後デイサービスを利用することが可能となった。（資料1参照）  
**目標・登校をうながす。少しの時間でもよいので登校させる。 → 達成**  
今後 → 交流学級での活動時間を増やす。少しでも自力登校を目指す。
- B児（2年生）の変容 教室内で活動する。トラブルが減少する。  
交流学級でのトラブルが減少し、規範意識の向上してきた。  
**目標・教室から出ない。落ち着いた学習態度が身に付く。 → 達成**  
今後 → コミュニケーション力の向上
- C児（2年生）の変容 宿題に取り組む。積極的な学習態度になる。  
言語能力の伸び。S T訓練時に担当の医師より向上を認められる。卒業。  
**目標・学習意欲の向上 → 達成**  
今後 → 漢字の読み書きを中心に音読力の向上をはかる
- D児（3年生）の変容 リズムのある生活。トイレの失敗がなくなる。  
学校生活への自信をつける。やる気のある学習態度と自尊心の向上。  
**目標・学習内容の定着 → 達成**  
今後 → 発言力の向上。自信のある言動がとれる。
- E児（3年生）の変容 会話の増加。明るい表情。  
宿題を進んで希望する。やることのできる自分への自信。  
**目標・学習意欲の向上 → 達成**  
今後 → 学習内容の定着

特に、A児（2年生）は、不登校傾向があり、1年生時の欠席が115日と多かった。少しの時間でも学校に登校できることをまず目標とした。6月中旬からは欠席ゼロの期間もあり、現在のところは欠席数も激減している。出来事や所見等経過をまとめたものを、資料1としてレポートの終わりに記載している。学校を楽しんでいると感じてくれたのがなによりである。

どの子どもも自力での成長が多い。しかし、適した支援指導が成長を促したとも言える。子どもにつけたい力を念頭に置き、長期を見通した計画の中で、短期目標を設定した。そして、具体的な手だてを実行したことが成果につながったと言える。子どもの言動に心を傾け、チャンスを逃さずに、子どもと保護者に声をかけ続けた。よりよい手だてを探し続けた。本研究でのアプローチに、改善を加えつつ、適した支援指導を継続していきたいと思う。

—子どものよりよい成長を願って、年間活動計画を作成する。

### 1. 基本的な心構えのすすめ

- (1) 子どもへの愛情
- (2) 保護者への愛情
- (3) 同僚への愛情

### 2. 意識改革のすすめ

- (1) みんなで育つ

### 3. すてきな一年間のすすめ

- (1) 一学期 ～あたたかな出会いをする～
- (2) 二学期 ～リズムのある生活をする～
- (3) 三学期 ～意欲的に活動をする～



## 1. 基本的な心構えのすすめ

### (1) 子どもへの愛情

どの子どもも可愛い。誕生時には、どの子どもも親や周囲の大人から愛情を受けていたのは、間違いない。そのことを忘れず子どもに広い愛情をもって接する。

### (2) 保護者への愛情

保護者の思いは、時として教師とは相容れない時がある。どちらも子どもを愛し子どものよりよい成長を願うのであるが、すれ違うことが少なくない。保護者は、その子だけを見つめその子の利害関係をごく狭い範囲で考えるからである。教師は、集団の中で子どもをとらえ、その子の将来を長い目でとらえる。まるで点と線である。視点の相違点を知らせ立場の違いはあるが、愛情をもって長い成長の中での育ちに視野を広げてもらう。協力すべき仲間という意識も大切である。

### (3) 同僚への愛情

同じ空間で同じ時間を共有する教職員にも、あたたかな感情を持ちたい。やり方に多少の違いはあっても子どもの成長に対する思いは同じである。一人で行動している意識でなく、ともに力を合わせている気持ちを大事にしたい。

## 2. 意識改革のすすめ

### (1) みんなで育つ

子どもも保護者も教職員もみんなで一緒に活動し頑張ることで育つ。一人ではないことを実感し、まわりの教職員を頼ることやまわりに手を差し伸べられるように意識を育てていく。教師が日常的に手本となることは勿論だが、学校生活のあらゆる場面で協力する大切さを話題とし、継続して指導していく。

### 3. すてきな一年間に \_\_\_\_\_ 1-②

昨年度までの引継ぎをしっかりと、子どもの実態と親の様子をつかむ。個別の指導計画と支援計画に目を通し、教師の願いを加えて、今年度において子どもにつけたい力を明確にし、一年間を見通して活動の目的と内容を計画し、実践し修正を加え、改善を目指す。

#### (1) 一学期 ～ スタート・出会い ～

##### 4月 【 子どもと親をつかむ 】

・子どもと保護者としてしっかりと向き合い、よい関係を築く。

#### ①担任決定から始業式まで

- 子どもの実態の引継
  - ・子どもの困りの把握 ( 病歴・病状・配慮すべき点 )
  - ・家庭状況の把握 ( 家族構成・経済的困り )
- 教室環境の整備
  - ・2年生3名と3年生2名で合計5名なので、東側と西側に机を置く。学習スペースとリラクセススペースを分ける。
- 子どもにつけたい力

- ・A児(2年生)少しの時間でもよいので登校できる力。
- ・B児(2年生)教室から出ない。落ち着いた学習態度がとれる力。
- ・C児(2年生)学習意欲を向上させる力。
- ・D児(3年生)学習内容を定着させる力。
- ・E児(3年生)学習意欲を向上させる力。

#### ②保護者と面接

- 保護者の願いを知る。
- 子どもの家庭での様子を知る。
- 教師の支援・指導方針・思いを知らせる。

##### 5月 【 子どもと仲良くなる 】

・子どもとの関係を深める。なりたい自分を思い描かせる。

#### ①子どもと面接

- 子どもの指向を知る。
- 子どもの家庭での様子を本人から聞く。
- 教師の支援・指導方針・思いを知らせる。

#### ②規範意識を育てる

- ルールの大切さを知らせる。学校全体・交流学級・ひまわり学級
- 守れたらほめる。ともかくほめる。

#### ③学習時ルールの徹底

- 学習用具の確認・授業前授業後のあいさつ・姿勢の保持
- 授業時の離席・私語なし→ごほうびタイムでの楽しい会話

## 6月【 なりたい自分を想像させる 】

・なりたい自分に向けて、具体的な努力を考え実行させる。

### ○目標

- ・ **A児**（2年生）少しの時間でもよいので登校する。  
夜は早めに就寝し、朝しっかり起きる。生活リズムを整える。
- ・ **B児**（2年生）教室から出ない。静かに学習する。  
トイレはきちんと知らせる。音を立てないようにする。
- ・ **C児**（2年生）学習意欲を向上させる。  
宿題は必ずする。わからない時は発言する。主語と述語に気をつける。
- ・ **D児**（3年生）学習内容の定着させる。  
宿題は必ずする。わからない時は発言する。
- ・ **E児**（3年生）学習意欲を向上させる。  
宿題は必ずする。学習に取り組む意味を考える。

子どもと保護者の頑張りを必ず認めてほめる。意欲の向上と継続に配慮する。シールやお花やイラスト等のご褒美で達成感を充実させる。

## 7月【 結果より経過を認める 】

・頑張る自分を自分で認めさせる。頑張った自分と頑張っている自分。

ドリルやノートなど頑張ってきたことを、その都度認め誉める。テスト等のまとめ学習で、4月や昨年よりわかることやできることが増えていることを実感させ、自信をもたせる。

- 取り組んだことを何より誉める。
- 宿題は、丁寧に詳しく見る。
- わからない時や出来ない時は、やり方を一緒に考える。
- わからない自分よりできる自分をイメージさせる。

## 夏休み

- 連絡をとる。
  - ・電話・手紙・家庭訪問等
  - ・生活の様子を聞く。生活リズム
  - ・課題等アドバイスをする。



【 教室のめだか 】

**8月・9月 【 継続できることを誉め、自信をつける】**

・自信をもたせる。

○指導方針を見直す

- ・ A児（2年生）登校をうながす。少しの時間でもよいので登校させる。  
→継続 母親のケアに力を入れる。
- ・ B児（2年生）落ち着いた学習態度で学習する。  
→継続 保護者と連絡をより密にとる。安心感をもたせる。
- ・ C児（2年生）学習意欲の向上  
→継続 +学習内容を定着させる。細かくステップをとる。
- ・ D児（3年生）学習内容の定着  
→継続 宿題の量と質の見直しをする。できることを自覚させる。
- ・ E児（3年生）学習意欲の向上  
→継続 +学習内容の定着と宿題の量と質の見直しをする。ほめる。

毎日の努力でできるようになったことやわかるようになったことを言葉で表現させることで、自分自身の頑張りに気づき自信を持つことにつなげる。

**10月 【 やらされるからやる自分への変容を促す支援をする 】**

・自分で計画して実行する。（生活面）

できるようになったところを日常的に認め強化するとともに、できるようになりたいところを子どもと一緒に考える。本人が気づきにくいところに気づくことができるように、プリントや作品を整理する。ビデオ等で授業の様子を記録し、後日見るのも効果的である。

できるようになったところを実感させ、自分自身で次の目標を立てさせる。

- ・ A児（2年生）少しの時間でもよいので登校する。  
夜は早めに就寝し、朝しっかり起きる。生活リズムを整える。
- ・ B児（2年生）教室から出ない。静かに学習する。  
トイレはきちんと知らせる。音を立てないようにする。
- ・ C児（2年生）学習意欲を向上させる。  
宿題は必ずする。分からない時は発言する。主語と述語に気をつける。
- ・ D児（3年生）学習内容を定着させる。  
宿題は必ずする。分からない時は発言する。
- ・ E児（3年生）学習意欲を向上させる。  
宿題は必ずする。学習に取り組む意味を考える。

## 11月 【 やらされる自分からやる自分へ 】

・自分で計画して実行する。(学習面)

できるようになったところを学習時に認め強化するとともに、できるようになりたい学習内容を子どもと一緒に考える。本人が気づきにくいところにも気づくことができるように、プリントやノートを整理する。ビデオ等で授業の様子を記録し、後日見るのも効果的などところは先月と同じである。

できるようになったところを実感させ、自分自身で次の目標を立てさせる。

- ・ **A児** (2年生) 少しの時間でもよいので登校する。  
交流学級で過ごす時間を、少しずつ増やす。
- ・ **B児** (2年生) 静かに学習する。  
プリントやノートを少しでもかならず取り組む。
- ・ **C児** (2年生) 学習意欲を向上させる。  
宿題を一緒に決める。
- ・ **D児** (3年生) 学習内容の定着させる。  
宿題を一緒に決める。
- ・ **E児** (3年生) 学習意欲を向上させる。  
宿題を一緒に決める。学習に取り組む意味を継続的に考える。

## 12月 【 継続する大切さを実感させる 】

・基本的な生活リズムの確立を目指す。

他の人からしかられるから取り組むのではなく、自分からできるようになることのすばらしさを実感させる。自分のために頑張れる子を目指す。

できることを増やしていく。

- ・ **A児** (2年生) 登校時間を増やす。  
早寝早起き・外で遊ぶ・友だちとコミュニケーションする。
- ・ **B児** (2年生) 静かに学習する。  
プリントやノートを少しでもかならず取り組む。
- ・ **C児** (2年生) 学習意欲を向上させる。  
宿題を一緒に決める。
- ・ **D児** (3年生) 学習内容の定着させる。  
宿題を一緒に決める。
- ・ **E児** (3年生) 学習意欲を向上させる。  
宿題を一緒に決める。学習に取り組む意味を継続的に考える。

### (3) 三学期 ～ 意欲的な活動 ～

1-⑥

自分ではできると実感させるためには、これまでに積み上げたことを成果として気づかせる。

#### 1月 【 成果と課題を整理し改善方法を考える 】

・効果的な手だてを見きわめる。

○指導方針を見直す

- ・ A児（2年生）登校をうながす。少しの時間でもよいので登校させる。  
→継続 母親のケアに力を入れる。  
→
- ・ B児（2年生）教室から出さない。落ち着いた学習態度。  
→継続 保護者と連絡をより密にとる。  
→
- ・ C児（2年生）学習意欲の向上  
→継続 +学習内容の定着  
→
- ・ D児（3年生）学習内容の定着  
→継続 宿題の量と質の見直し  
→
- ・ E児（3年生）学習意欲の向上  
→継続 +学習内容の定着と宿題の量と質の見直し  
→

#### 2月 【 効果的な手だてを継続する 】

・効果的な手だてを検証する。

振り返りは、子どもも教師も大切である。

#### 3月 【 一年間を振り返る 】

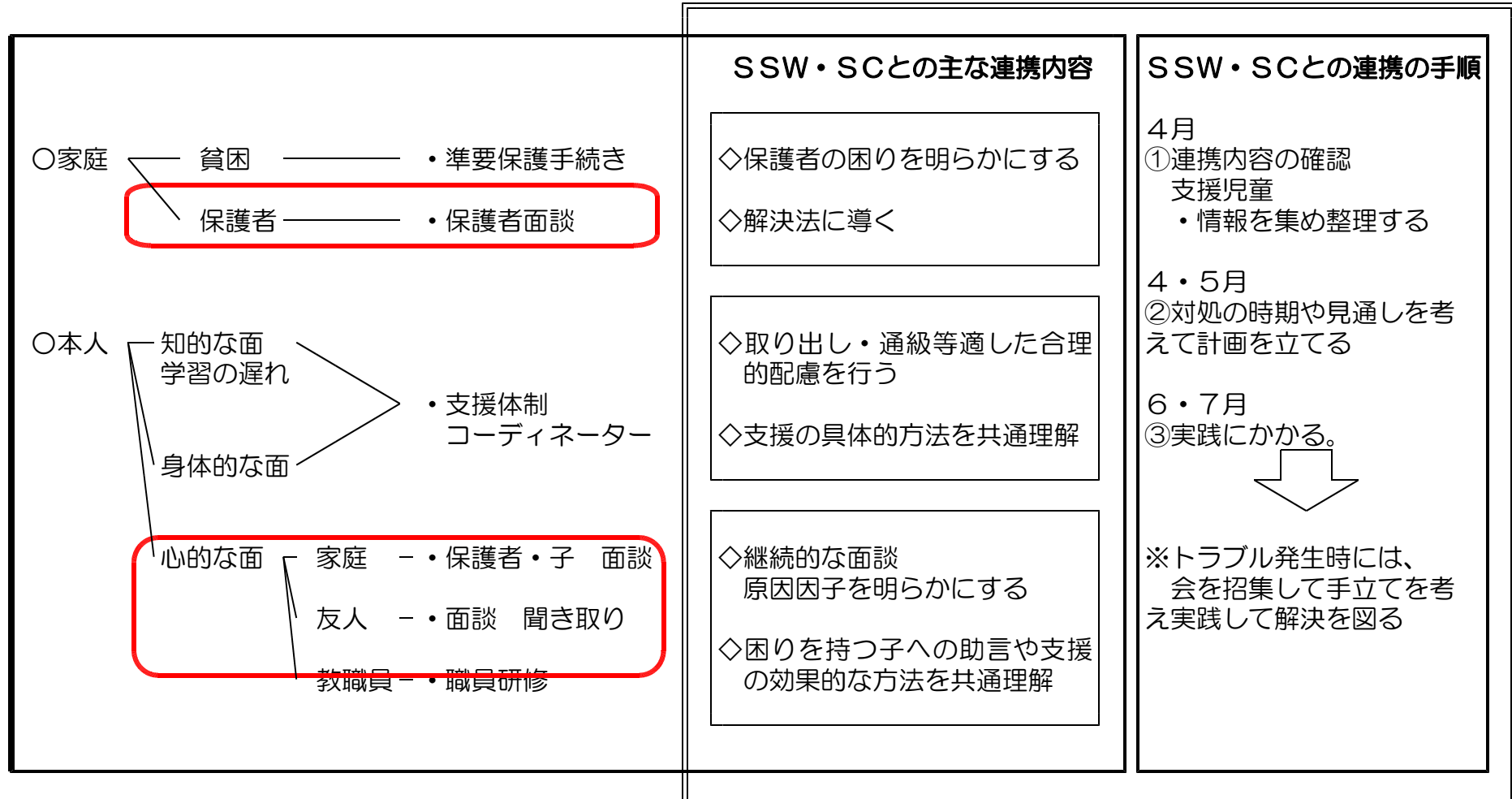
・一人一人を見つめ直す。

A児からE児の一年間を振り返り、その成長を教師がまず認め、本人や保護者に実感させる。例え緩やかな成長であっても、素晴らしいことには変わりないので、皆で喜びあえるとよい。

また、今年度の成長を来年度に継続していくためにも、成果と課題を整理し、文書として残し確実に次年度につないでいく。

## 資料2 SSW・SCとの連携

子どもの困りの主な原因因子とSSW・SCの活用 QUとアンケートより子どもの実態をつかむ





資料3 A児の行動記録  
4月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
<p><b>5</b> 面談 (母親・担任2) 15:30- 昇降口まで出迎え→保護者に安心感 本人の状況と指導の方向について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年の7月頃から不登校傾向にある。</li> <li>・音やにおいに敏感くつや食べ物等そうじが苦手</li> <li>・食べ物 魚の骨が苦・パンが好・牛乳が苦</li> <li>・教室での指導の声やトラブル等の大きな声 激しい口調になじまない</li> <li>・欠席時には、姉に言付ける。</li> </ul>		<p><b>7</b> 面談 母・担任2・ 本人) 15:30- 昇降口まで出迎え→ 保護者と本人に安心 声かけをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひまわり1の教室 机の確認</li> <li>・肩にさわって良いか聞く。→良いと答える。</li> </ul>	<p><b>8</b> 10:40-11:45 全校下校時に いっしょに下校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぬいぐるみ持参(ビーン)</li> <li>・畳の上ですごす。プリントをする。線書き等</li> <li>・めんどくさいことが嫌いという。</li> <li>・下校時に他の友だちを見て、歩いて帰るという。笑顔。</li> </ul>	<p><b>9</b> 11:00-14:00 昼休みを過ごす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飽きてきた。箱に入ったりゲームをするが、落ち着かない。</li> <li>・ぬいぐるみを持ってくる。</li> </ul>
<p><b>12</b> 入学式前日</p> <p>11:45-12:40</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食を交流学級で食べる。自分で配膳する。パンをお代わりする。</li> </ul>	<p><b>13</b> 入学式</p>	<p><b>14</b></p> <p>8:10-8:30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対面式に参加する。本人の希望である。写真をとる。</li> </ul>	<p><b>15</b> 欠席</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前日から食欲が無い。</li> </ul>	<p><b>16</b></p> <p>11:45-12:45</p> <p>身体測定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食をひまわりで食べる。母親と食べる。</li> </ul>
<p><b>支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話を二回かける。</li> <li>・スモールステップに心がける。欲張らない。</li> <li>・目標を保護者と共有する。</li> <li>・保護者と本人と話す機会をなるべく増やす。</li> <li>・経験から類推せず、様子を見て本人と保護者を理解する。</li> </ul>		<p><b>変容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食を交流学級で食べる。</li> <li>・自分で配膳する。お代わりする。</li> <li>・朝の活動に参加する。</li> <li>・予定を変更して自分から食べるという。</li> </ul>		
<p><b>19</b></p> <p>11:45-13:00</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食を母親と。ぬいぐるみを喜ぶ。カオナシとしんちゃんが好き。</li> </ul>	<p><b>20</b></p> <p>11:00-11:40</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝学校に行きたいという。給食は食べない。カオナシと会いたがる</li> </ul>	<p><b>21</b></p> <p>12:00</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車から降りない。給食も食べない。母親は、事前に電話で離れてみるというが、多分無理をしている。</li> </ul>	<p><b>22</b></p> <p>・12:50-13:30</p> <p>授業参観・学級懇談・保護者会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姉の授業参観中に父親とひまわり1で過ごす。リラックスしている。</li> </ul>	<p><b>23</b></p> <p>10:30-12:20</p> <p>お見知り遠足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よく遊ぶ。昼食はクラスの中で食べる。少し残して遊びに夢中である。</li> </ul>
<p><b>支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師との結びつきが強まる。</li> <li>・連絡はよくとる。</li> </ul>		<p><b>変容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分から手をつなごうとする。結びつきを感じる。</li> <li>・笑った顔を見せる。</li> </ul>		
<p><b>26</b></p> <p>11:50-12:50</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話を二回かけていたが、朝はかけないでほしいと連絡あり。</li> </ul>	<p><b>27</b> 欠席 療育センター</p>	<p><b>28</b></p> <p>11:45-12:50</p>	<p><b>29</b> 昭和の日</p>	<p><b>30</b> 欠席 歯の治療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者面談により給食後に下校</li> </ul>
<p><b>支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11:50-13:30の登校を基本としてリズムを作るように提案する。</li> <li>・ごほうびタイムスペースを増やす。トランポリン・畳</li> </ul>		<p><b>変容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少しずつ笑顔が増える。</li> </ul>		

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
<b>支援</b> ・あせらない。 母親へのケアを続けて行う。 話し相手になりストレスを軽減させる。			<b>6</b> ・11:50-12:50 ・保護者面談により給食後に下校 食事中よく会話する。	<b>7 欠席</b>
<b>変容</b> ・会話が増える。 ・ひまわりでは、ストレスなく過ごせそう。				
<b>10</b> 12:00-13:30 ・昼休み遊ぶ。 ・火曜日の図工にさそう	<b>11 欠席</b> 子供会準備のためという理由	<b>12</b> 12:00-13:30 ・少しプリントをする。 嫌がる。 ・図書の本を借りる。 母親は図書館で待つ。	<b>13</b> 15:00-15:30 ・ミニトマトを植える。 畑を見る。	<b>14 欠席</b> ・母親とSSW面談 母親の話聞く。 母親は大変乗り気。
<b>支援</b> ・あせらない。母親へのケア。母親とのラポールをつくる。 ・SSWとの面談の時間をつくる。			<b>変容</b> ・母親と親しくなる。	
<b>17 欠席</b>	<b>18 欠席</b>	<b>19 出席停止</b>	<b>20</b> 12:50-14:00 ・食後絵をかく。 「不思議な卵」黒と赤のみを使う。 赤は血の色、悪魔のようなキャラクターと武器を持った自分首やバラバラの死体	<b>21</b> 12:00-14:00 ・かんざき小も視野に入れている。子どもと離れたい。 ・子どもはよく話す。聞いてほしいばかり。
<b>支援</b> ・あせらない。母親へのケアを考える。 ・SSWとの面談の時間をつくる。			<b>変容</b> ・母親と親しくなったと思うが、一進一退。	
<b>24 欠席</b>	<b>25</b> 9:45-10:35 ・車から出ないが、ザリガニのことに興味があり車外に出る。 外でも遊ぶが… ミニトマトは見ない。	<b>26 欠席</b>	<b>27</b> 14:00-14:30 耳鼻科検診 ・ちょっとの間来た	<b>28</b> 12:00-13:20 SSWとの面談 ・お金の与え方ーお手伝い ゲームで課金 学校の時間にはゲームは× ・計画性が大切
<b>支援</b> ・あせらない。母親へのケアを考える ・ルール作りに心がける ・SSWとの面談の時間をつくる				
<b>31</b> 10:20-10:30 ・スピッツを取りにくるぬいぐるみを持っている。	<b>変容</b> ・学校で楽しむことができる。			

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
<b>支援</b> ・生活リズムの大切さとゲームの有害な面を伝える。 ・学校の授業時間には、ゲームをしない方がよいことを力説する。	1 8:45-9:00 12:40-12:50 ・母親に言う。ゲームと課金のこと話す。	2 8:40-8:50 ・歯科検診 来てすぐに帰る。	3 13:40-14:00 ・内科検診 終わった後ごろんとする中で母親と少し話す。	4 欠席
	<b>変容</b> ・日中ゲームをさせてしまうことの苦しい状況を言う。 ・現実に向き合いつつある。			
7 欠席	8 10:00-11:00 ・カオナシのバックパソコンとザリガニ ・ミニトマトの鉢植えを黙って持って帰る	9 欠席 ・13:30ごろTEL有り	10 11:00-12:00 ・水泳参加用紙を書きに来る。 黒板に絵を書いて話をする。	11 欠席 療育センター
<b>支援</b> ・奏太さんと母親にそうようにより支援を考えていく。 ザリガニ・カオナシ		<b>変容</b> ・ミニトマトのはち植えを探す。母親がだまって持って帰る。 ・母親を中心に考える。		
14 10:50-11:20 ・ゲームの話をする キーボードを買う 校長が神崎に託する受け入れができないことを知る。	15 10:30-11:40 ・水泳の授業 楽しく入る。 ・校長と面接キャンセル	16 12:15-13:40 ・給食を母親と食べる うれしそうに話す	17 15:00-15:30 ・午後水やりに来る 養護教諭のカオナシを見て喜ぶ	18 12:15-13:30 ・s s wと面談 昼休みに2-3へ トランプを西田君たちとする
<b>支援</b> ・水泳の授業を楽しく受ける。		<b>変容</b> ・自信があることやできそうなことには積極的になる。 ・他のクラスに足を運ぶ。		
21 10:10-11:00 ・黒板に絵を描く マシュマロマン	22 10:20-11:50 ・水泳の授業 楽しみにしている	23 11:45-13:30 ・給食後一年生の先生とあいさつする 身長を測る。	24 10:20-10:40 ・s cと面談 定期的に休むことを提案される	25 15:00-15:30 ・学級懇談時登校 デイに行けず登校姉の懇談に出席
<b>支援</b> ・ひまわりで過ごしていたのを積極的に活動場所を広げる。 ・一緒について行ったり一人で行かせる。		<b>変容</b> ・母親とくっついている。 母子分離不安が強まる。		
28 14:50-15:00 ・水やり	29 10:30-11:30 ・水泳の授業を休む めだかを見にひまわり2に行く	30 12:30-13:30 ・めだかを取りに来る 2-3までひとりで歩いて行く	<b>変容</b> ・友だちに興味を示す。	
<b>支援</b> ・学校にあるあらゆるものを使い、興味を持続させる。				

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
<b>支援</b> ・他の教諭と話す機会をなるべくつくる。 ・プールの時間を中心にふれあいを考える。 ・母子で支援を考える。 ・次のステップを考える。		<b>変容</b> ・表情が随分と明るくなる。 ・学校全体に慣れてきている。		1 13:55-14:45 ・ザリガニを見る ホワイトボードに絵を描く	2 S S w 12:15-13:50 ・寝ぼけて調子悪い。 給食は食べる にゃんこの絵を描く。
5 10:45-11:30 ・くまもんのこと 明日のプールを楽しみにする	6 10:30-11:30 ・プールに父親と来る 父親は体育館で見守る	7 12:30-13:30 ・昼食後1-1とかを見に行く ミニトマトと学級園を見る	8 12:00-13:00 ・昼食後絵を描き1-1を見に行く 先生とタッチする	9 10:30-11:30 ・S S Wとの面談をキャンセルする。 3年生と会話する。	
<b>支援</b> ・学校より家の方が楽しいとどうしても登校できない。 家庭での過ごし方を考えてもらう。		<b>変容</b> ・今までだと登校しなかった状況でも母親の働きがけで登校が可能。 ・母親の表情が明るい。			
1 2 10:00-10:20 ・トマトの水やりをする トマトを2つ持って帰る	1 3 10:30-11:45 ・水泳の授業 短いつもりだったが最後まで入る。 夏休みを話す	1 4 12:20-13:20 ・給食を母親と食べる 気分が乗らなかったが焼きそばを食べ回復	1 5 11:15-12:00 ・めだかの水替え 池でめだかをとる。	1 6 13:10-14:10 ・s s wをキャンセル 本を返し、観察池へホテイアオイをとる。	
<b>支援</b> ・デイサービスで、今週は奏太さんの遊びをしてくれる。 ディにも継続して行く。		<b>変容</b> ・ずっと登校している。 ・浅黒くなり、表情も明るい。			
1 9 9:15-10:00 ・ホワイトボードに絵を描く。 明日来ると言い残す。	2 0 10:20-11:50 ・終業式 あゆみを手渡す。 2の2でもらう。	<b>支援</b> ・母親を認め、励ます。 ・他学級に積極的に関わる。 教師・教室・子ども ・学校中に居場所をつくる。		<b>変容</b> ・親子で自信を持って、登校している。 ・7月は欠席がゼロだったのが自信？ 予定を気にできるようになった。	

## 8月【二学期】

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
・新型コロナの猛威のため学習形態が変わる。 ・対応を細かくして安心できる様にする。	8 / 6 (金) 10:0-10:15 ・平和学習の日 近況を話しすぐ帰る。	2 5 臨時休業	2 6 臨時休業	2 7 臨時休業 ・電話連絡をする。 月曜日の準備等
3 0 11:10-12:40 ・少し緊張しての登校 日に焼けている	3 1 出席停止	<b>支援</b> ・夏期休業中だが、時々連絡をとる。 ・気にしていることを伝える ・暑中見舞いのハガキを出す。		<b>変容</b> ・出席に積極的になる。 ・8 / 6 (金) 平和授業の日も出席する。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
<b>変容</b> ・走って教室（ひまわり）に来た。 ・明るい声で大きくあいさつが出来る。 ・学校からディサービスに直接行くことができた。 ・休み中に比較的多くディサービスに行くことが出来て、友だちとコミュニケーションも取れるようになってきている。		1 臨時休業	2 11:30-12:40 ・4時間目の図工の作品観賞に参加し、給食も2の3で食べる。 ・学校からデイへ行く。	3 出席停止
6 11:45-12:40 ・給食を2の3で食べる ・隣の西田さんと話す。 ・学校からデイに行く。	7 出席停止	8 臨時休業	9 欠席 ・久しぶりに欠席	10 出席停止
<b>支援</b> ・分散登校が終わる。 ・より心に寄りそった支援に心がける。		<b>変容</b> ・欠席がずっとなかったので安心していましたが、休みが出た。 ・来週から本格的登校が始まる。		
13 11:30-13:30 ・パソコンロイロノート 給食2-3で食べて、ディサービスに学校から行く。	14 9:15-9:25 ・ほんの少しだけ来るディサービスに行くのを楽しみにしている。	15 12:15-13:40 ・給食を食べて、ディサービスに行く。 うれしそうに話す	16 欠席	17 12:45-13:00 ・ほんの少しだが、登校する。車の後席でゲームをしている。
<b>支援</b> ・交流学級で給食を食べれたり、学校からディサービスに行くことができるように、声かけや調整をする。		<b>変容</b> ・給食を2の3の教室で食べるようになる。 ・学校からディサービスに行く。		
20	21 欠席	22 12:20-13:40 ・学校に来てディサービスに行く。	23	24 欠席
<b>支援</b> ・学校内で一緒について行ったり一人で行かせたりする。		<b>変容</b> ・休みが多いのでなかなかリズムがつかめない。 ・欠席が増えてきた。		
27 出席停止 ・姉が熱を出し、休む。	28 10:10-10:50 ・ぬいぐるみを3体貸す	29 欠席	30 12:15-13:15 ・給食をひまわり1で食べて、めだかをとる。	
<b>支援</b> ・学校にあるあらゆるものを使い、興味を持続させるよう工夫する。 ・休みが多く、どうしても生活が不規則になるので生活リズムについて母親と話をする。		<b>変容</b> ・ディサービスを長時間利用可能になる。 ・学校からディサービスに行けた。 ・欠席が5日と増えた。		

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
<b>変容</b> ・走って教室（ひまわり）に来た。 ・明るい声で大きくあいさつが出来る。 ・学校からデイサービスに直接行くことができた。 ・休み中に比較的多くデイサービスに行くことが出来て、友だちとコミュニケーションも取れるようになってきているが、休みが増えてきた。				1 欠席
4 10:00-10:15 ・めだかを見て、すぐに帰る。 ・母親が午後ワクチンを打つ。	5 欠席 ・母親が昨日ワクチンを打ったため体調不良で補佐ができない。	6 12:15-12:40 ・給食を食べる。	7 12:45-13:00 ・ほんの少したが登校。	8 欠席
<b>支援</b> ・欠席が増えて減らないが、母親の体調を考えてあまり理由を深く聞かない。		<b>変容</b> ・欠席が増える。 ・デイサービスには行き、学習しているとのこと。		
11 欠席	12 欠席 ・療育に行く	13 欠席	14 欠席	15 欠席
<b>支援</b> ・交流学級で給食を食べれたり、学校からデイサービスに行くことができるように、声かけや調整をする。		<b>変容</b> ・欠席が一週間続いた。 ・母親の体調がよくない。		
18 欠席	19 10:00-10:30 ・散髪して坊主頭になる。 ・工作をしたいと言う。	20 11:45-12:00 ・すぐに帰る。 ・工作は作らなかった。	21 欠席	22 欠席
<b>支援</b> ・一緒について行ったり一人で行かせたりする。		<b>変容</b> ・休みが多いのでなかなかリズムがつかめない。 ・欠席が増えている。		
25 欠席	26 12:30-12:50 ・姉の放送を聞きに来る。 ・すぐに帰る。	27 欠席 ・母親発熱	28 9:40-10:10 ・登校するが教室に入れない。	29 欠席
<b>支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母親の体調不良が続く。</li> <li>・登校刺激をあまり強くすると、母親が負担に感じるので、バランスが難しい。</li> <li>・「疲れたときは休んでください」と母親の頑張りを認めることで随分落ち着く。</li> </ul> <b>変容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席が続いているが、以前より力強い感じを受ける。</li> <li>・来月は運動会等があるので、頑張ると言う。</li> </ul>				

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
<p>1</p> <p>9:50-10:20</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会のリズムを見に来たが間に合わなかった。</li> </ul>	<p>2</p> <p>10:30-12:00</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会の練習に参加おどりをすぐに覚える。</li> </ul>	3	<p>4 見学遠足</p> <p>7:40-14:45</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝早くから登校うみたまごも高崎山もすごく楽しむ。</li> </ul>	<p>5</p> <p>10:30-12:50</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会練習に参加。給食も食べる。</li> </ul>

<p><b>支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不安に思っていることを事前に把握して、話すことで不安感を少なくする。</li> <li>・母親の不安感も薄くする。</li> </ul>	<p><b>変容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見学遠足のバスの座席や並び方を配慮することで積極的に活動することができた。</li> <li>・落ち着いた言動が取れるようになった。</li> </ul>
---	--

<p>6 土曜日</p> <p>8:45-9:30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会の練習にすべて参加できた。</li> </ul>	<p>7 日曜日</p> <p>運動会 8:40-10:30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会式からずっと参加できた。</li> <li>・達成感で笑顔が増えた</li> </ul>	<p>10 欠席</p>	<p>11</p> <p>9:30-9:40</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほんの少しだが登校</li> <li>・書類をもって父親が来る。</li> </ul>	<p>12 欠席</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母親の調子が悪い。</li> </ul>
---	---	--------------	--	---

<p><b>支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな行事である見学遠足、運動会に積極的に参加できた。事前に内容を知らせ、見通しを持たせた。</li> </ul>	<p><b>変容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席が減った。</li> <li>・大きな行事を経験して、自信をつけてきた。</li> </ul>
--	--

<p>15</p> <p>10:10-10:20</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短い時間だが登校</li> <li>・PTAの役選の話をする。</li> </ul>	<p>16 欠席</p>	<p>17</p> <p>11:30-12:45</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食中にPTAの役員に役選の相談をする。</li> </ul>	<p>18 欠席</p>	<p>19 欠席</p>
---	--------------	--	--------------	--------------

<p><b>支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの頑張りを認めつつ心身共に休んだうえで、これからの見通しを少しずつ話す。</li> </ul>	<p><b>変容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母親の体調がよくないが、少しずつ登校</li> <li>・宿題の心配をする。</li> <li>・学習にも少しずつ関心が出てくる。</li> </ul>
--	---

<p>22</p> <p>13:45-14:30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピザを作り会食する。</li> <li>・家庭で取り組んだプリントを持ってくる。学習も頑張っている。</li> </ul>	23	<p>24 欠席</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姉の体調不良により欠席する。</li> </ul>	<p>25</p> <p>11:30-12:50</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ねん土をする。色を混ぜてねん土玉をつくり、ケーキを作る。</li> </ul>	<p>26</p> <p>12:15-12:30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食は食べずにねん土を持って帰る。</li> </ul>
--	----	--	--	---

<p><b>支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しめる活動には積極的に活動を促す。</li> <li>・頑張りは、大げさに承認する。</li> </ul>	<p><b>変容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休みがまだまだ多いのでなかなかリズムがつかめない。</li> <li>・欠席がなかなか減らない。</li> </ul>
---	--

<p>29 欠席</p>	<p>30 欠席</p>	<p><b>母親</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校への気持ちが続かない。</li> <li>・ディサービスに続けて行けているので満足している。</li> <li>・時間的に余裕ができ表情が明るくなり、声にも張りが出てきた。</li> <li>・来年に向けて今からできることを少しずつ話をして準備する。</li> </ul>
--------------	--------------	---

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
<b>支援</b> ・母親を含めて気になるものを利用する。 <b>変容</b> ・走って教室（ひまわり）に来る。 ・明るい声で大きくあいさつが出来る。 ・休み中に比較的多くディサービスに行くことが出来ているが、学校の休みが増えてきた。 ・話を積極的にするようになった。		<b>1</b> 9:30-10:10 ・姉の持久走大会を応援に来る。	<b>2</b> 欠席	<b>3</b> 9:35-10:15 ・遮光式土器を気にする。遮光式土器をすごく気に入る。
<b>6</b> 9:45-10:15 ・遮光式土器を見に来る ・ちいかわのマットをくれる。	<b>7</b> 9:45-10:15 ・遮光式土器を見に来る ・まぼーと呼ぶ。	<b>8</b> 12:30-10:45 ・体調がよくないなか、土器を見に来る。	<b>9</b> 欠席	<b>10</b> 11:20-12:00 ・色を英語で言う。 ・イエロー・ホワイト等
<b>支援</b> ・欠席は少なくなったが、学校での活動時間があまり増えていない。母親の体調を考えてあまり理由を深く聞かない。		<b>変容</b> ・引き続きディサービスには行き、学習しているとのこと。 ・随分明るく元気になっている。		
<b>13</b> 9:20-10:00 ・ピラミットの置物パーウエイトを見る。	<b>14</b> 9:10-9:35 ・本当に少しだけ来る。	<b>15</b> 12:10-12:55 ・久しぶりに食事をするパンを喜んで食べる。	<b>16</b> 11:30-12:50 ・給食を食べる。お米だけが食べる。食塩を振りかける。	<b>17</b> 10:10-12:50 ・給食を食べる。磁石で遊ぶ。
<b>支援</b> ・少しでも学校に来れるのを認め、意義のあることと誉める。 ・これからできそうなことを少しずつ話していく。		<b>変容</b> ・大変明るくなる。本人も母親も。 ・母親の体調がよい。		
<b>20</b> 欠席	<b>21</b> 欠席 ・療育センターに行く。	<b>22</b> 11:50-12:30 ・皮膚科の病院の後登校給食を食べる。 ・給食を継続する。	<b>23</b> 12:30-14:30 ・給食を食べる。 ・ドミノをする。 ・昼休み運動場で遊ぶ。	<b>24</b> 11:45-12:30 ・給食を食べる。 ・ひまわりであゆみもらう。
<b>支援</b> ・様子をみてこれから出来そうなことを話していく。 ・3年生に向けての見通しを伝える。		<b>変容</b> ・大変明るく、すごく話す。 ・リラックスしてひまわりで過ごせる。		
<b>支援</b> ・母親の体調不良が続いたが、回復してきた。体調のよくないときは、あまり刺激しない。 ・登校刺激をあまり強くない。本人より母親が負担に感じる。 ・母親の頑張りをなにより認める。場面に即して誉める。 ・今年を振り返り出来るようになったことを再確認して成長を実感できるようにする。				
<b>変容</b> ・欠席は随分少なくなった。言動が一層力強い感じになる。 ・できることと出来にくいことが言える。				



【 1 学期 登校をうながす。少しの時間でもよいので登校させる。 】

- ・ 欲張らない・スモールステップ・見通しをもつ・母親をはげます

教師の姿勢

- ・一つできるともう一つと先を急いでしまう。それは、子どもにとって息がつまることになる。分かっているにもかかわらずできない。どうしても先へ先へと急がせてしまう。実態をよくみる。
- ・一歩進んで半歩下がることを覚悟する。ずっと進み続けることは難しい。覚悟すること。
- ・行き当たりばったりは、指導の効果が薄い。教師は常に計画的にすることが大切。スモールステップで目標を随時修正しつつ見通しをもつ。

教室環境

- ・教室環境を整える。学校は楽しい。居ごちの良い場所にする。
- ・ごほうびタイムスペースの充実 — テント・畳・トランポリン —

母親へ支援

- ・SSWと連携する。ぎりぎりの状態で頑張り続ける母親に対するケアをさぐっていく。
- ・会話を増やし、距離を縮めるように努力する。

【 2 学期 登校できていることを認める。 】

- ・母親を絶えずはげまし認める

教師の姿勢

- ・欲張らずに今出来ていることをより確実にする。
- ・連絡に心がける。保護者・交流学級

教室環境

- ・時折、場所を見直す。置いたままだとほこりや汚れにつながる。いっしょに片付けると子どもの意識も向上する。気分も新しくなり、やる気につながる。スペースの充実 テント・畳・トランポリン

母親へ支援

- ・母親を支える。母親の思いを理解しようとする。何に困り何を求めているのか。世代は違うが、誠意は必ず通じると考える。立場を尊重し一緒に頑張る姿勢を発信する。支援指導方法は、意義や思いを伝えてから実施するとよい。常に発信することが安心感につながる。会話を増やし、距離を縮めるように努力する。

【 3 学期 来年度につなぐ。 】※今後実践しながら改善していく。

- ・見通しをもつ

教師の姿勢

- ・今できていることと今後できてほしいことを整理する。
  - ◎登校できている。▼自力登校ができていない。交流学級で過ごす時間が短い。
  - ◎学習への興味がわきつつある。▼学習に自ら取り組めない。

母親へ支援

- ・母親の意見を聞く。

## 1. めざす子ども像

- 自分の考えをもち、進んで表現する子
- 人と関わり合いながら、自分の考えを深めたり、広げたりする子
- 学んだことを振り返り、生活に生かそうとする子

## 2. 研究主題と仮説

主題 自ら学び、確かな学力を身につける子どもの育成

仮説 見通しから学習課題を設定し、話し合いを深める場のもち方や学んだことを実感できるまとめ、振り返りのさせ方を工夫すれば、自ら学び、確かな学力を身につける子どもが育つであろう。

○実態に合った指導・支援のあり方

- ・子どもの能力や特性をつかみ、それぞれの個に応じた指導や支援をすれば子どもたちは生き生きと取り組むであろう。

○学習活動設定の理由について

### (1) 子どもについて

- ・本学級には、3年生2名・2年生2名の計5名が在籍している。
- ・国語と算数を中心にひまわりで学習している。
- ・年長の3年生が、活動のリーダーとなり率先して見本となる言動をとる。
- ・次項に詳細を記す。

### (2) 活動内容について

- ・授業は、単学年で実施することは少なく、ほとんどが複数学年での活動になる。
- ・生活単元学習活動は、全学年で行う。  
体育的活動・野菜の栽培収穫調理の活動・特活的活動などである。
- ・自立活動では、心理的な安定・人間関係の形成・コミュニケーションなどを行っている。

### (3) 指導・支援について

- ・学習活動に集中させるために、学習空間を3つのスペースに分ける。
- ・集中力が持続しにくいので、声を出さず活動はなるべく単学年の授業の時に計画する。
- ・朝の時間にその日の「日課表」を確認させる。
- ・日課表には、2つの学年を一緒に表し、他の学年の活動も意識させる。
- ・小黒板に1時間の活動の流れを記入し、子どもに活動の見通しを持たせる。
- ・個別にあった補助プリントを使用し苦手な所を克服できるようにする。
- ・「生活単元学習」では、全学年合同で活動する。どの学年も楽しめるように内容を考慮する。
- ・本時は、国語は音読と漢字練習をして、集中して課題に取り組ませる。  
算数は、本時では計算練習をして九九の計算力の定着を図り、算数への取り組みの準備をする。

	子どもの実態	効果的と思われる支援
2・A児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく快活で恥ずかしがりであるが、感情の起伏が激しい面もある。自分でおさえられずに泣く時もある。</li> <li>・興味のあることに対しては、意欲的で課題を追究することも楽しめる。</li> <li>・手先を思い通りに動かすことが得意ではなく、作業の途中で投げ出すこともある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できたことをその都度ほめる。</li> <li>・会話が好きなので機会あるごとに話を聞いてあげると、感情の落ちこみが未然に防げる。</li> <li>・わかることやできることは抵抗なく取り組めるが苦手なことには、抵抗があるので<u>事前に不安感を取り除く。</u></li> </ul>
2・B児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おだやかで、笑顔でいることが多い。優しい反面友だちに荒く接することがある。</li> <li>・読み書きは、苦手であるが丁寧に視写できる。</li> <li>・計算に対しての意欲が低い。</li> <li>・集中して取り組むことが少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いをあまり出さないなので、時折話を聞く。安心感が得られる。</li> <li>・作業に時間がかかるので、<u>活動内容と時間に配慮する。</u></li> <li>・学習が苦手なので、<u>少しずつでも継続して取り組む場を作る。</u></li> </ul>
2・C児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に見通しがつく。段取りが良い。</li> <li>・心優しいが、言動に粗さがあるので、言葉等に注意させる。</li> <li>・読みが苦手である。語彙が少なく文節で言葉を理解できていない。</li> <li>・算数には得意意識がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情緒が安定している。しかし、コミュニケーションが苦手な面があるので、相手との距離感について場に応じて話す。</li> <li>・<u>音読に積極的に取り組む。</u>授業の中で聞き合う場をもうけて、<u>言葉に慣れる。</u></li> <li>・得意意識を伸ばす。みとめる・ほめる</li> </ul>
3・D児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感情の起伏が激しく、気分の落ちこむ時が多い。</li> <li>・活動に対して、意欲的な場合と消極的な場合の差が激しい。</li> <li>・理解力はあるが、意欲関心集中が継続しないので力として定着しにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言動を見守り感情を安定させる。</li> <li>・見通しがつきにくいと活動へ取り組めないで、<u>一日の計画や一時間の計画を始めに確認する。</u></li> <li>・<u>スモールステップで、達成感を次の活動へのやる気につなげる。</u></li> </ul>
3・E児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・穏やかで優しく、快活である。</li> <li>・活動に見通しを持つことが苦手である。</li> <li>・順序良く話したり内容を分かりやすく話すのは苦手である。</li> <li>・学習には意欲的に取り組み理解力はある。</li> <li>・理解したことは、定着もよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しがつきにくいので、活動の段取りを丁寧に伝える。概念的な言葉の理解が乏しい面があるので、説明時には言葉を配慮する。</li> <li>・意欲を認め励まし、成果をほめる。</li> <li>・結果と丁寧に取り組むことを奨励する。</li> </ul>

時間	学習活動	三年生	二年生
[ 国語 ]			
1	○学習計画を知る（立てる）。 ※気持ちを集中させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間の授業の流れを確認する。 漢字→音読→本時の課題・解決→まとめ・振り返り→次時予告</li> <li>・学習の見通しをもつことができる。</li> </ul>	
	○これまで習った漢字をノートに記入し練習する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">漢字の復習をする。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いて学習に取り組む。</li> <li>・漢字ドリルの問題をやる。</li> <li>・苦手な文字の形や文章における使用方法に習熟する。</li> </ul>	
2		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">学習している単元を音読する。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文節に気をつけ、内容を考えて読む。</li> <li>・単語の意味に気をつけて読む。</li> <li>・ひっかからずにすらすら読む。</li> </ul>	
3	○学習課題を設定する。 自分の問題解決に向けての情報を集めることができる	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">情報を集めて、自分の考えをまとめる。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題解決に向けての計画を立てることができる。</li> <li>・情報をいろいろな方法で集めることができる。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた情報をもとに自分なりの考えをまとめる。</li> <li>・情報を集めることができる。</li> <li>・自分の考えが書ける。</li> </ul>	
[ 算数 ]			
1	○学習計画を知る（立てる）。 ※気持ちを集中させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間の授業の流れを確認する。 計算練習→本時の課題・解決→まとめ・振り返り→次時予告</li> <li>・学習の見通しをもつことができる。</li> </ul>	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">計算練習をする。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かけ算九九の練習問題をたくさんやる。</li> <li>・かけ算九九の練習問題に慣れる。</li> <li>・かけ算九九の練習問題を確実にやる。</li> </ul>	
2	○学習課題を設定し、自分の考えをまとめる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">課題解決に向けて、自分の考えを持つ。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちのよい考えに気づくことができる。</li> <li>・自分の考えを発表することができる。</li> <li>・自分の考えを発表することができる。 ・友だちの考えを聞くことができる。</li> </ul>	
[ プログラミング ]			
1	○学習計画を知る（立てる）。 ※気持ちを集中させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間の授業の流れを確認する。 タブレットのあつかい方を知る→チャレンジ→まとめ・振り返り</li> </ul>	
2	○活動に集中する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットの扱いに慣れ、楽しく活動できる。</li> </ul>	

	A児B児(2年生)	C児(2年生)	D児(3年生)	E児(3年生)
単元名	冬がいっぱい	かけ算の復習	ありの行列	
10:35	文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。	かけ算九九の復習の問題をする。	文章を読み理解したことに基づき、感想をもつことができる。	比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。
10:35	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">文章を読んで、分かったところに印をつけよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○音読する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・交互に読む。</li> <li>・分かったところに波線をする。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○かけ算九九の暗唱をする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">どんな間違いをするのかな。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○計算問題をする。自分の間違いをみつけよう。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明する。</li> <li>・いっしょに考える。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字練習                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートに書く。</li> <li>・止め・はらい・折れ等に気をつける。</li> <li>・字形を整える。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字練習                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントをする。</li> <li>・ノートに練習する。</li> </ul> </li> <li>○音読練習                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現に注意する。</li> <li>・構成に着目する。</li> </ul> </li> </ul>
10:50	金澤 <ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字練習                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字プリントを視写する。</li> <li>止め・はらい・折れ等に気をつける。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○練習練習をする。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・間違いに気をつける。</li> <li>・答え合わせをして時々間違いをチェックする。</li> </ul> </li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">文章を読んで、感想を話そう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○音読する。</li> <li>○分かったところに波線を書く。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">表現の工夫をするには、どうすればよいだろうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比喩に気がつく。</li> <li>・反復に気がつく。</li> </ul>
11:05	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">分かったことから感想が広がる。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">間違いに気がつくると計算ミスが減る。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">分かったことから感想が広がる。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">比喩や反復を使うと表現が広がる。</div>
11:20	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まとめと振り返り                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・波線をつけたところを見返す。</li> <li>・認めあう。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まとめと振り返り                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・正解したところとやり直したところを見返す。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まとめと振り返り                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読の上達と波線のところを見返す。</li> <li>・ほめる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まとめと振り返り                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんばった自分を実感してほめる。</li> </ul> </li> </ul>

※複数学年での学習時は、通常は学習内容の定着をすることが多い。  
新しい内容を扱うことは、あまり無い。